

アグリ★ルネッサンス

農業経営きょうと

No.107
2020.秋



京都西山・タケノコの伝統を受け継ぐ清水農園 清水大介さん

CONTENTS

クローズアップ この経営者！ 2 ページ
顧客の声を励みに産地の“誇り”継承
— タケノコの里で店頭販売 —
清水農園（京都市西京区）

チャレンジ農業法人 4 ページ
いちごにロマン 観光農園の夢実る
— 新たな販売スタイルにも挑戦 —
株式会社 おさぜん農園（八幡市）

家賃支援給付金のお知らせ 6 ページ

メリットいっぱい！ 農業者年金 6 ページ
農業経営相談所 府内の農業者を伴走支援 ... 7 ページ
交流サロン開催 事業継続計画(BCP)策定へ... 7 ページ
収入保険は経営安定の必需品 7 ページ

農業法人ニュース 8 ページ
— 京都府農業法人経営者会議の取り組み —
■令和2年度総会を開催
■京都府農林水産部との情報・意見交換会開催

編集局から 8 ページ

クローズアップ

この経営者！

顧客の声を励みに 産地の“誇り”継承

——タケノコの里で店頭販売——



農地を守り、農業の魅力を伝えたい。コメ1年分を予約購入するお客様もいる。

京都市西京区・清水農園

清水 大介さん(37)

京都・西山山系、京都・乙訓地区は日本有数のタケノコ産地で知られる。11年前、父を亡くし、若くして実家の農業を引き継いだ清水大介さんは、父の友人や地元の人たちに教わりながら技術を習得。「京たけのこ」生産を継承する一方、多彩な野菜、米などを栽培し、自宅の直売所で販売している。「消費地である都市近郊は農業の魅力をアピールできる絶好の場所」。そこに大介さんはやりがいを見いだしている。

お客さまの声がすべて

子どものころから実家の手伝いをしていた大介さんは、大学卒業と同時に、富山県の農業法人で研修。

1年後、実家に戻り父の元で就農した矢先、父が病に倒れた。

そのとき、大介さんを助けてくれたのが父の友人や地元の人たちだった。

現在、清水農園の働き手は大介さん、母の純子さん

(69)と研修生の後野祐規さん(31)の3人。父から引き継いだタケノコ(竹林30a)のほか、露地トマト、ナス、エダマメ、タマネギなど20~30品目の野菜(50a)のほか、米(コシヒカリ・ヒノヒカリ)3haを栽培している。

自宅に構えている直売所で販売を担当するのは純子さん。お客さまに野菜の特徴や料理方法を説明しながら、接客を通して感想や要望を聞き、野菜の品目選択に活かしている。「お客さまの声がすべて」と大介さん。「お客さまのご要望をお聞きしているうちに野菜の種類もずいぶん増えました」と笑う。



顔の見える店頭販売—お客さまとの会話はなによりの励みに(左は接客中の母・純子さん)



高品質なタケノコを維持するために年間を通して手入れが欠かせない



同志社大学フットサルクラブTREBOLの学生たちと共に土入れ作業

タケノコの魅力を発信

清水農園のタケノコのメインは、西京区大枝塚原町で採れる「塚原たけのこ」。きめ細かな粘土質の土壌をベースに、「芯止め、ワラ敷き、施肥、土入れ(客土作業)」など1年間を通じて手入れを行うことによって高品質を保っている。

さらに、大介さんは現状に満足することなく、書籍を通じてタケノコの基本となる竹の生育・特徴について理解を深めるなど、栽培技術の研鑽に余念がない。こうした生産者の思いが込められたタケノコのファンは全国に広がり、顧客は250世帯を超え、市内の料亭からの注文もある。

しかし、「いまではこの地が日本有数のタケノコの産地だということを知らない子供たちも少なくない」と残念がる。「多方面にタケノコの魅力を発信していきたい」。先祖代々の竹林を守り継ぐ意思は固い。

子どもたちの食育を支援

大介さんは、子どもたちが「食」について学ぶことを支援する「きょうと食いく先生」の認定を受けるなど、食育活動にも積極的だ。もともと父が地域の小学校で食育活動に取り組み始めたのがきっかけ。その遺志を受け継ぎ、野菜の収穫体験、農具の使用方法、トラクター乗車体験、レプリカを使ったタケノコの掘り取り体験等、自家の畑で授業を行っている。

授業の中で「自分は誇りを持って農業に取り組んでいくので、子供たちも勉強・スポー

ツ等、夢中になれることを見つけて一生懸命取り組んでほしい」と約束を交わしている。

「京都西山のタケノコのすばらしさを伝え、自分の育った土地に誇りを持ち、農業以外でも将来取り組むことに誇りを持てるようになってほしい」というのが大介さんの願いである。また、同志社大学フットサルクラブTREBOLの学生たちに竹林の土入れ作業を手伝ってもらっており、今後、「色々な方とのコラボレーションにも取り組んでいきたい。」と意欲的だ。

規模拡大、法人化の道も

研修会などを通じて同世代の農業経営者とも幅広く交流している。大介さんを支える思いは「経営に対する考え方などを学び、人とのかかわりを大切にした農業をやっていきたい」—その一点だ。

目下の悩みは、お客さんの注文に十分には対応できていないこと。特に米は毎年、早々に売り切れてしまう。そこで、近隣だけではなく亀岡市内でも農地を確保するなど、規模拡大をめざしている。

「農地の集約化のために必要なら農業経営の法人化にも積極的に取り組んでいきたい」。そんな青写真を描いている。



農業・地域に誇りを一清水農園での児童の収穫体験。掘り取りの実演に使うタケノコのレプリカも



いちごにロマン 観光農園の夢実る

— 新たな販売スタイルにも挑戦 —



いちご農園を始めて13年になる長村善和さん・由香さん夫妻

株式会社 おさぜん農園

八幡市

- 代表取締役 長村善和
- 設立年月 2012年5月
- 資本金 500万円
- 労働力 役員2名、社員4名
パート16名(生産8名、観光農園8名)
- 事業内容 「いちごの観光農園」
いちご生産：ハウス21棟(82a)

関西最大級の観光いちご狩り園へ

八幡市は明治時代からナシの産地として知られ、農園代表の長村善和さん(37)の実家も曾祖父の代から続くナシ農家だったが、長男の善和さんは2007年、就農と同時にいちご栽培へ乗り出す。

「労働量に見合う利益が必ずしも得られない農業のありようを変えたいというのが原点だった」と善和さん。そこで「子どもにも大人にも人気の高いいちごに可能性を感じた」という。それも販売主体ではなく、完熟させたいちごをその場で食べてもらおうと、いちご狩り園をオープン。ちなみに農園名の「おさ」は名字の長村、^{おさむら}「ぜん」は代々男

子の名につけられてきた「善」から名付けた。

開園時は鉄骨ハウス6棟からスタート、単収とにらみ合わせながら徐々に増棟し、今では14棟(計5,200㎡)に拡大。さらに、今年、新たに7棟が完成(同8,200㎡)した。この関西でも最大級のいちご狩り園を社員4名(男性30代2名、女性20代2名)、生産部門・観光部門のパート各8名で運営している。



今年からハウス14棟から21棟へ
関西最大級の規模を誇る



ロゴデザイン（後方）のテーマは「広がる笑顔と会話」



年末から始まるいちご狩りに向けて準備が進む

高設栽培、通路幅もゆったり

もともといちごの施設栽培に関して、お手本があったわけではない。善和さんは「他府県の農園を見学したり、ハウスの資材業者と意見交換を重ねて、試行錯誤を繰り返しながら独学で栽培の土台を築いてきた」と振り返る。

温度、湿度はもちろん、CO₂ 発生(光合成促進)装置など最新の設備を備えて最適な栽培環境を制御し、高品質と収量の安定を図っている。2年前から生産部門は社員に任せているが、ハウス内の水・温度管理はいまでも善和さんが受け持つ。

栽培品種は「^{あきひめ}章姫」「紅ほっぺ」など4品種。腰をかがめることなく立ったままのラクな姿勢で作業ができる高設栽培で、ハウス内はゆったり通路幅をとっているため、来園者もベビーカーや車椅子を押したままいちご狩りを楽しむことができる。

「毎年来てくださるお客さまとの会話はなによりの励みになる」と善和さん。来園者は京都をはじめ大阪、兵庫などから年間2.5万人(2019年)、その半数はリピーターだ。

多彩なオリジナル加工品

隣接する直売所スペースも人気の秘訣だ。農園オリジナルのジャム(いちご・ナシ・イチジク)や、いちごを使ったラスク、チョコレートなどの菓子類がずらりと並ぶ。さらにカフェメニュー(ジェラート・パフェ)も豊富で、夏場にはかき氷も登場。女性スタッフによるハンドメイド雑貨も販売している。

商品開発に取り組んでいる妻の^{ゆうか}由香さん(36)は「農園のいちごの味を最大限引き出したオリジナル商品をめざして食品メーカーとコラボしてきましたが、ようやくラインナップも充実してきました」という。

農園のPRはSNSのほか、今年3月にはYouTubeチャンネルを開設し、動画の投稿を開始。直売所とカフェは、いちご狩りのシーズン終了後も日時を限定して営業を続けている。

コロナ禍を機に販路を拡大

善和さんは常に前向きだ。例年、いちご狩りの稼ぎ時は毎年3月～5月だが、今年はコロナ禍で「緊急事態宣言」発令後はキャンセルが相次いだ。そこで迷うことなく事業戦略を転換、シーズン中は「三密」を避けるため夜間の「ナイトいちご狩り」や直売所での「量り売り」を実施した。

また、地元の直売所やスーパー、市場への出荷を強化する一方、懇意にしている店舗などでのキッチンカーによる出張移動販売など、販路拡大に乗り出している。

さらに、善和さんはこれまでいちご農家になりたいという若者の相談に乗ってきたが、本格的にサポートしていこうと「いちご農家になろう!」プロジェクトも立ち上げた。「いちご農家の輪を広げていけば、ビジネスはもっと大きく成長できるはず」と善和さん。「いちごにこだわり、いちごとともに成長する」という信念の所産である。



コロナ禍を契機にキッチンカーでの移動販売も行っている

家賃支援給付金のお知らせ ～農地の賃料の申請者向け～

「家賃支援給付金」は、新型コロナウイルス感染症拡大により、特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を下支えするため、**地代・家賃**の負担軽減を目的に支給するものです。

給付対象

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、売上高が減少した事業者

が対象になります。

①**2020年5～12月**において、

- **いずれか1ヶ月の売上高**が前年の同じ月に比べて**50%以上減少**
 - **連続する3ヶ月の売上高**が前年の同じ期間に比べて**30%以上減少**
- のいずれか**になっていれば**対象**になります。

②資本金10億円以上の大企業等を除く、**農業者、農業法人が広く対象**となります。
※**農事組合法人**や**協同組合**など、会社以外の法人についても広く対象となります。

給付額

申請時の直近に支払った、**農地**を含む土地や建物の支払賃料(月額)※の合計に基づき、所定の方法で算出された給付額が、一括で支給されます。
※賃料が年払いの場合は、12で割った額(平均月額)。また、賃料の支払実績が必要です。

〔上限額〕**個人：300万円、法人：600万円**

申請期間 **2021年1月15日まで**

まずは
こちらに
相談！

家賃支援給付金 コールセンター 0120-653-930
受付時間**8：30～19：00** ※平日・日曜日対応(土曜日・祝日除く)

● メリットいっぱい！ 農業者年金 ●

安定した農業者の老後生活を支える公的年金「農業者年金」が評判です。昨年度、京都府内では36人の方が新規加入されました。農業者年金には「6つのメリット」があります。

①**農業者の方なら広く加入できます**

加入要件は(ア)年間60日以上農業に従事、(イ)60歳未満、(ウ)国民年金第1号被保険者の3つだけです。

②**少子高齢化に強い積立方式・確定拠出型**

支払った保険料とその運用益が支給原資となる積立方式・確定拠出型ですので、少子高齢時代の影響を受けません。

③**保険料は自由に決めることができます**

保険料は月額2万円～6万7千円の間で、経営や家計

の状況に応じていつでも見直せます。

④**終身年金です**

年金は終身受給できます。80歳前に亡くなられた場合は、死亡一時金が遺族に支給されます。

⑤**税制面の優遇措置**

支払った保険料の全額が社会保険控除の対象となるなどの優遇措置があります。

⑥**保険料の国庫補助**

2万円の保険料の支払いが難しい場合は、保険料の国庫補助の仕組みがあります(一定の要件が必要です)。

詳しいご説明は、京都府農業会議(075-417-6847)や農業委員会にお尋ねください。

● 農業経営相談所 府内の農業者を伴走支援 ●

農業会議に設置した「京都府農業経営相談所」では、関係機関から推薦された農業経営者を対象に、経営改善に向けた専門家を無料で派遣しています。

まず中小企業診断士による経営診断を受けていただき、経営課題を明確化した上で、税理士や社会保険労務士など課題の解決に必要な専門家を派遣する仕組みです。

昨年度は100回以上の専門家派遣を行っており、「経営課題の優先順位が明確になった」、「従業員と経営方針が共有できるようになった」など、好評を得ています。

経営者の皆様！ 農業会議・担い手創生部や現地推進役にお声がけください。



店舗運営の専門家派遣を受けた(株)ビオ・ラビッツ(京丹後市、6月)

● 交流サロン開催 事業継続計画(BCP)策定へ ●

京都府農業法人経営者会議では、農業法人経営者や若手農業者が自由に意見交換、交流するため「交流サロン」を、7月28日(火)こと京都(株)向島工場、8月4日(火)丹後王国で開催しました。

今回は「気象災害等への対応」をテーマに事業継続計画(BCP)策定の取組について、こと京都(株)が策定した「防災指針2020」の報告を聞き、経営者にとっての考え方やメリット、具体的な手順等について学びました。

多くの参加者が「感染症や自然災害に備えたBCPを早急に策定する必要がある」と実感。それぞれの状況や

課題を出し合いながら情報交換しました。

南部会場



北部会場



事業継続計画(BCP)とは

今年は、新型コロナウイルス感染症が、経済・社会に大きく影響をもたらしています。

農業生産者は、このような状況においても、国民の生命維持に不可欠な農産物を安定的に供給するため、日々努力されています。

このような状況に加え毎年のように台風、豪雨による被害を受けています。

農業生産者は、台風・豪雨及び感染症等の際、中核事

業の継続・早期復旧を可能にするため、台風対策、地震対策、感染症対策、農産物供給システムの持続継続・生産資材供給の持続継続の対策等、平常時の活動や緊急時の事業継続のための方法・手段を取り決めておく計画づくりが大切です。

BCPを策定する際には、「初動対応」と「事業継続対応」の二段階を意識することがポイントです。

災害発生⇒初動対応⇒事業継続対応⇒通常営業への復帰

収入保険は経営安定の必需品

収入保険は農業保険の中でもすべての農産物を対象品目とし、自ら生産した農産物の販売収入全体が対象となる保険です。経営内容に応じて加入方法が選べます。

収入が減少するさまざまな要因が補償の対象です

青色申告をしている農業者が対象です

保険料・付加保険料(事務費)には50%、積立金には75%の国庫補助あり

無利子のつなぎ融資で経営の負担を軽減できます

加入条件や補てん内容など詳しいことは、京都府農業共済組合の各支所にお問い合わせください。

お問い合わせは ▶ 山城支所 TEL.0774-62-8611
 こちらまで ▶ 中丹支所 TEL.0773-42-8800
 ▶ 本 所 TEL.075-222-5700

▶ 京都支所 TEL.0771-63-2951
 ▶ 丹後支所 TEL.0772-62-6521

農業法人

ニュース

—京都府農業法人経営者会議の取り組み—

■令和2年度総会を開催

7月6日（火）、ホテルセントノーム京都において、令和2年度（第25回）京都府農業法人経営者会議総会を開催しました。

今年度の総会は、6月25日開催の予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、開催日時の変更と可能な限り最少人数（役員、理事、顧問、監事）で開催しました。

会員には総会への出席を控えていただき、委任状をもって議事の表決をお願いしました。

総会では、令和元年度事業報告・決算報告、令和2年度事業計画・予算が原案どおり承認されました。

新型コロナウイルス感染拡大で、農業のサプライチェーン寸断の影響が出ている中、迅速な会員の状況把握や支援対策等の要請を行うとともに、新規会員の仲間を増やす活動を強化していくことなどを決定しました。



京都府農業法人経営者会議
山田会長

■京都府農林水産部との情報・意見交換会開催

8月25日（火）、ホテルセントノーム京都で京都府農林水産部と経営者会議会員との意見交換会を開催しました。

京都府農林水産部との情報・意見交換会には、会員20名が参加。

京都府から「農林水産ビジョン」「コロナ対策支援」「京都府立農大の就農先・生徒募集」について情報提供があり、その後の意見交換会では、コロナ禍の影響と対策、長雨による日照不足・高温への対応、人的支援、スマート農業、集落営農組織の高齢化対策、人材不足等について、現場の実情を直接伝えました。

京都府農林水産部
沼田部長（左）
水口技監（右）



編集局から

◆今年はコロナ禍の影響で生産者の多くが被害を受け、対策に迫られる年となり、まだまだ予断を許さない状況です。

そのような中、京都西山のタケノコを守る清水農園と八幡市でいちごの観光農園を展開する(株)おさぜん農園を取材させていただきました。ありがとうございました。

本号で紹介したお二人の経営者は、地域への貢献と消費者との対面販売により消費者の笑顔をテーマに農業経営と地域連携に取り組んでおられました。

課題は、都市近郊での規模拡大と合理的な農地の集約。今後の活躍を期待しています。

発行／2020年10月

発行者 （一社）京都府農業会議

〒602-8054 京都市上京区出水通小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内 TEL.075(417)6847